

令和6年度 評価計画及び自己評価

(計画・**中間**・最終)

蒲刈中学校区 校番 31 学校名 呉市立蒲刈小学校

a 学校教育目標	未来を拓く児童の育成	b 経営理念 ミッション・ビジョン	(ミッション)(学校の使命) ふるさとを誇りに思い、愛し、いつかは役立ちたいと思う、知徳体のバランスのとれた児童の育成  (ビジョン)(将来の学校像) 地域とともに輝く学校
----------	------------	----------------------	--

c 中期経営目標を踏まえた現状(進捗状況)と今年度の重点	「主体的・対話的で深い学び」のための問いを生かした「課題発見・解決学習」による授業改善を通して、児童の思考力・判断力・表現力の育成を目指して取り組んだ。結果、知識・技能の定着とともに設定した目標値を上回った。本年度も、引き続き、児童の問いを活かし、課題発見・解決学習による主体的・対話的な授業改善に取り組み、思考力・判断力・表現力のさらなる育成を図るとともに、小中合同行事による異校種交流や異学年交流を通して、児童の自己肯定感をさらに高めていきたい。そして、引き続き「ふるさと学習」のより一層の充実を図り、住んでいる地域の良さを再発見させていくことで“ふるさとを愛し、ふるさにと貢献したい”という思いを持ち、進んで考え行動する児童を育てていきたい。
------------------------------	--

育成を目指す資質・能力	知識・技能	思考・判断・表現	自己の生き方を考える力	協働的に関わる力
-------------	-------	----------	-------------	----------

評価計画(中期経営目標を設定してから ①・2・3 年目)					自己評価							
重点	d 中期(3年間)経営目標	e 短期(今年度)経営目標	f 目標達成のための方策(こんなことをして達成します)	g 指標(効果を見とる目安)	h 目標値	上半期			下半期			
						i 達成値	j 達成度	k 評価	i 達成値	j 達成度	k 評価	
**	学んだことを実際の社会や生活で生きて働かせ、未知の状況にも対応できる児童生徒の育成	知識・技能の確実な定着	児童のつまずきに応じた個別指導の充実とキュービナやドリル等を活用した既習事項の復習の徹底	国語科・算数科における学期末テスト、期待得点以上の児童の割合	85	88	104	A				
			読書環境の整備、読書貯金、読書タイム、図書室の活用等、読書活動の推進	1月ごとの読書目標冊数、目標ページ数を達成した児童の割合	100	73	73	B				
			「走」に重点を置いた体育科授業の実施及び委員会活動による集団遊び等の継続、外遊びの習慣化	50m走の記録が昨年度の結果を上回った児童の割合	90	62	67	C				
		① 自己表現できる力の育成	相手を意識した自分の考えを説明し合う場及び児童の発する言葉を大切に授業	児童アンケートで、「発表者は相手を意識しわかりやすく表現していた」と答えた児童の割合	100	97	97	B				
		思考力・判断力・表現力の育成	課題発見・解決学習による、主体的・対話的で深い学びとなる授業実践と、NIEや読解プリントの活用	算数科テスト(思考・判断・表現)、国語科のテスト(読解)に係る正答率70%以上の児童の割合	90	93	103	A				
**	郷土を愛し、協働して貢献し、学んだことを自分の人生や社会に生かそうとする児童生徒の育成	① 自己肯定感の育成	中学校区の特色を生かした異校種・異学年交流及び評価の充実	児童アンケートで「自分にはよいところがある」と答えた児童の割合	90	86	96	B				
		自己の生き方を考える力の育成	避難訓練等の防災教育の深化及び「自分の命は自分で守る児童」の育成	児童アンケートで「災害時に避難する場所や避難の仕方について理解している」と答えた児童の割合	100	97	97	B				
			地域資源(ひと・もの・こと)に触れ、自己の生き方を考える「未来を拓く100の出会い」の取組	児童アンケートで「将来に向けての夢や目標がある」と答えた児童の割合	100	94	94	B				
		協働的に関わる力の育成	「ふるさと学習」の充実・深化	児童アンケートで「地域や社会をよくするために自分は何をするべきかを考えている」と答えた児童の割合	90	91	101	A				
*	① 教職員の意欲と能力を發揮できる教育環境づくり	児童と向き合う時間の確保	熟議を通して教職員のアイデアを活かした業務内容の再検討、ICT機器の効果的活用の推進	アンケートで「日々の業務の中で充実感を得られていると感じる」と答えた教職員の割合	100	100	100	A				
		長時間勤務の軽減	週1回の一斉定時退校の徹底、スケジュール管理に基づく職務の遂行	時間外勤務が月45時間を超えない教職員の割合	100	100	100	A				

【k: 評価】  
A: 100≦(目標達成) B: 80≦(ほぼ達成)<100  
C: 60≦(もう少し)<80 D: (できていない)<60